

第3学年1組 算数科学習指導案

1 単元名 あまりのあるわり算

2 指導観

【3学年】	【4学年】	【5・6学年】
<p style="text-align: center;">【わり算】</p> <p>分ける操作をする時や、倍を求める時に除法を用いることを理解し、図やテープ図、乗法九九を用いて計算をしてきている。</p> <p style="text-align: center;">【あまりのあるわり算】</p> <p>除法ではわり切れない場合があることを知り、あまりが除数よりも小さくなることを理解していく。また、具体物や図をもとに、あまりを切り上げて1つ分とするかどうか考え、説明する活動を通して、あまりの適切な処理の仕方についての理解を深めていく。</p>	<p style="text-align: center;">【わり算】</p> <p>整数の除法の筆算での計算の仕方について知り、除数が1位数や2位数で、被除数が2位数や3位数の除法など、多数桁の除法の計算ができるようにしていく。また、数の相対的な大きさについての理解を活用し、商の見当を立てながら計算ができるようにする。さらに、日常生活の事象を除法を用いて求める活動を通して、除法を用いた計算の広がりを感じさせる。</p>	<p style="text-align: center;">【小数のわり算】</p> <p>小数の除法の意味について理解し、より広い場面に用いることができるように一般化していく。</p> <p style="text-align: center;">【分数のわり算】</p> <p>小数の除法の計算の考え方をもとに、分数の除法の意味について理解できるようにする。さらに、整数の場合の計算の意味や計算の仕方を利用して、新しい計算の仕方を作るなどして、四則計算の広がりを感じさせる。</p>

3 目標

- あまりの意味や、あまりは除数より小さくなることを知るとともに、除数、商、あまり、被除数の関係への理解を深め、除法であまりのある場合の計算ができる。
(知識及び技能理解)
- わり切れる場合の除法の意味との関係性を捉え、わり切れない場合の除法の計算の仕方を考え、説明することができる。(思考力・表現力・判断力等)
- 数量に進んで関わり、問題事象に合わせてあまりをどのように処理したかを振り返り、除法のよさに気づき生活や学習に活用しようとするすることができる。
(学びに向かう力・人間性等)

4 単元計画 (8時間)

- (1) 既習学習を振り返り、学習の見通しをもつ。 ①
- (2) 除法であまりのある場合があることを理解する。 ③
- (3) 除法の計算のしくみをもとに、除数、商、あまり、被除数の関係を考える。 ①
- (4) 問題場面を考察し、あまりの適切な処理の仕方を考える。 ②(本時7/8)
- (5) 学んだことのよさを実感する。 ①

5 本時 平成30年9月28日(木) 3校時

6 主眼

- あまりを切り上げるか切り捨てるかを判断し、適切に処理することができる。
- 図、式を用いて、自分の考えを自分の言葉で説明することができる。

7 準備

今までタイムの提示用問題

8 本時の過程（7／8時間）

段階	学習活動と内容	主な支援
つかむ	<p>1 今までタイムを行い、本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ 今までタイムを行い、あまりが出るわり算を想起する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>48ページの本を1日に9ページ読みます。全部読むには何日かかりますか。</p> <p>・あまりを切り上げて1つ分として考える問題。</p> </div> <p>○ 問題を提示し、既習学習との相違点を出し合い、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>けんが23まいあります。このけん5まいでくじびきが1回できます。くじびきを何回することができますか。</p> <p>・あまりを切り捨てて考える問題。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈めあて〉あまりをどのようにすればいいか考えよう。</p> </div>	<p>○ あまりを切り上げて1つ分として処理する方法を振り返らせるため、前時の問題を提示する。</p> <p>○ あまりを切り捨てる問題を提示し、今まで問題と比較させることで、問いをもたせる。</p>
さぐ	<p>2 練習問題をといて、あまりの処理の仕方を考える。</p> <p>○ 問題に対しての自分の考えを、図、式、言葉を用いてノートに書く。〈自力解決〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>色紙を6まい使って箱を作ります。色紙は50まいあります。箱は何個できますか。</p> </div> <p>式 $50 \div 6 = 8$あまり2</p> <p>答え 8個</p>	<p>○ モデル提示した問題を振り返らせて、あまりを切り捨てる場合の考え方を確認する。</p>
深める	<p>3 考えを交流し、あまりの処理の仕方を見いだす。</p> <p>○ 自分の考えをペアと交流し、考えを付加修正する。</p> <p>○ 全体で交流する。</p> <p>・折り紙2枚では箱が作れないので、箱は8個です。</p>	<p>○ 「まず」「次に」などキーワードを提示して、自分の考えを分かりやすく説明できるようにさせる。</p>
生かす	<p>4 本時のまとめを行い、チャレンジタイムを行う。</p> <p>○ 本時学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈まとめ〉問題場面によって、答えに1たすときと、たさないときがある。</p> </div> <p>○ チャレンジタイムを行い、学んだことのよさを実感する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あつさ4cmの図かん20さつがあります。</p> <p>①1人が3さつずつ運ぶ。全部運ぶには何人ひつようか。</p> <p>②教室に、はば30cmの本だながある。本だなに図かんは何さつならぶか。</p> </div>	<p>○ 学んだことのよさを実感させるために、練習問題に取り組ませる。</p>

授業仮説：

あまりのあるわり算を振り返り，問題事象に合わせてあまりをどのように処理したかを表現し伝え合う活動を位置付ければ，あまりの処理を適切に行うことができるであろう。

学習活動	成果	課題
1 今までタイムを行い，本時のめあてをつかむ。		
2 練習問題をといて、あまりの処理の仕方を考える。		
3 考えを交流し，あまりの処理の仕方を見いだす。		
4 本時のまとめを行い，チャレンジタイムを行う。		